

北海道地方海水情報 第31号(長期)

令和3年3月24日(水) 11時00分
札幌管区气象台発表

(見出し)

向こう1か月、オホーツク海南部の海水は融解しながら後退するでしょう。網走の流水終日は、平年並か平年より早いでしょう。

(本文)

[概況]

オホーツク海全域の海水域面積は、3月に入り平年並で経過しています。オホーツク海南部の海水は次第に融解していますが、知床半島、国後島、択捉島の一部では接岸しています。海水の一部は根室海峡に流入し、また国後水道から太平洋へ、宗谷海峡から日本海へ流出しています。

[今後1か月の予想]

オホーツク海上空の気温は南部を中心に平年より高く、オホーツク海南部の海水は融解しながら後退するでしょう。網走の流水終日は平年並か平年より早くなる見込みです。海水の日本海や太平洋への流出は小規模にとどまり、次第に終息するでしょう。オホーツク海全域の海水域面積は平年並で推移する見込みです。

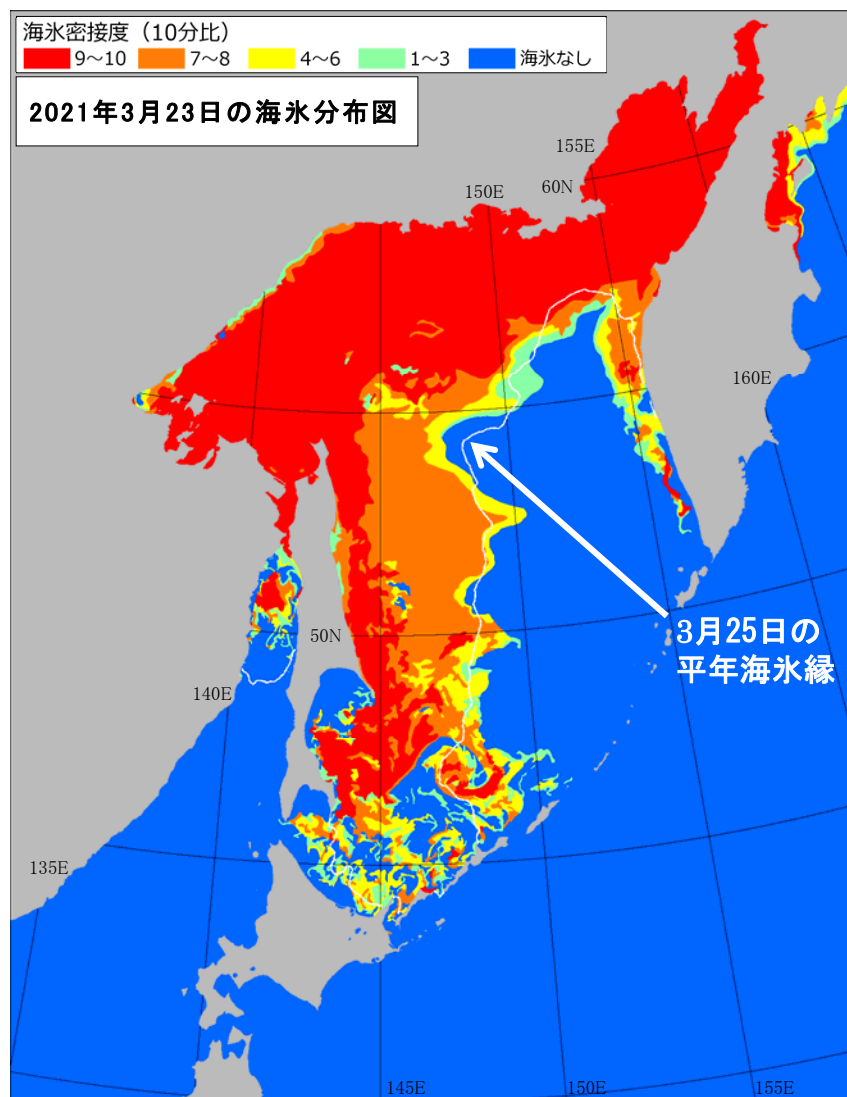
※網走の流水終日の平年並の範囲:4月4日から4月18日

次の北海道地方海水情報は3月26日(金)に発表する予定です。
今期の北海道地方海水情報(長期)は、これで終了します。

札幌管区气象台ホームページ 海水・流氷に関する情報
<https://www.data.jma.go.jp/sapporo/kaiyou/seaice/seaice.html>

気象庁ホームページ 海水に関する現象の初終日
https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/db/seaice/hokkaido/hokkaido_coastal_list.html#detail

気象庁ホームページ オホーツク海の海水の平年値(海水分布図)
https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/db/seaice/okhotsk/okhotsk_normal.html



海水分布の作成には、気象衛星や防衛省と海上保安庁の航空機による観測結果を利用しています。